

3/31(木)の発表

はじめよう、つづけよう。

「北海道スタイル」

～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 北海道スタイル



報道発表資料の配付日時

3/31(木)

15時00分

発表項目 (行事名)	(速報) 感染性胃腸炎患者等の集団発生について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施場所) 月 日 () 時 分～	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○詳細については別紙のとおり</p> <p>◆ (速報) 感染性胃腸炎患者等の集団発生について</p> <p>別紙 帯広保健所 (保育所: 17名、サポウイルス)</p>		
参考			

報道(取材) に当たっての お願い	<p>本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報の保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。</p> <p>つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。</p>		
他のクラブ との関係	同時配布	(場所)	
	同時レク	十勝総合振興局記者クラブ	

担当 (連絡先)	保健福祉部感染症対策局感染症対策課感染症対策係 (担当: 山下)		
	電話	(代表)	011-231-4111 (内線25-506)
		(ダイヤルイン)	011-204-5253

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和4年(2022年)3月31日(木) 15:00

北海道保健福祉部感染症対策局感染症対策課
TEL: 011-231-4111 (内線: 25-506)
FAX: 011-232-3719

令和4年(2022年)3月25日(金)、帯広保健所管内の保育所において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

- 1 発生の探知**
 令和4年(2022年)3月25日(金)に、帯広保健所管内の保育所から、複数の園児がおう吐、下痢症状等を呈している旨、同保健所に通報があった。
- 2 発生の概要**
 帯広保健所管内の保育所の園児17名が、3月20日(日)から3月28日(月)にかけて、おう吐、腹痛、下痢の症状を呈し、うち10名が医療機関を受診し、治療を受けた。(入院した者はいない。)
- 3 現在の状況**
 3月31日(木)現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。
- 4 経過**

3月20日(日)～28日(月)	おう吐、腹痛、下痢等の有症者発生
3月25日(金)	保育所から保健所に通報
26日(土)～29日(火)	保健所及び北海道立衛生研究所において、有症者のうち7名の便を検査した結果、全員からサポウイルスを確認
- 5 感染経路**
 現在調査中
- 6 対応**
 帯広保健所では、当該施設に対し、利用者及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。
- 7 その他**
 この件については、本日15時00分、帯広保健所においても、資料配付を行っています。報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

サポウイルスとは

サポウイルスとは、主として乳幼児に見られる急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。

サポウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、ノロウイルスやロタウイルスに比べ低頻度だが、一年を通して発生がみられる。

主症状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱(軽度)

潜伏期間：24～48時間

経過・予後：通常3日以内で回復、予後は良好

【道内の集団感染性胃腸炎の発生状況】

3月25日(金)現在

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
件数(件)	168	190	188	148	146	67	187	17
有症者数(人)	4,031	4,671	4,454	3,019	3,010	1,354	4,217	356

*政令市(札幌市を除く)保健所分を含む。

*定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)